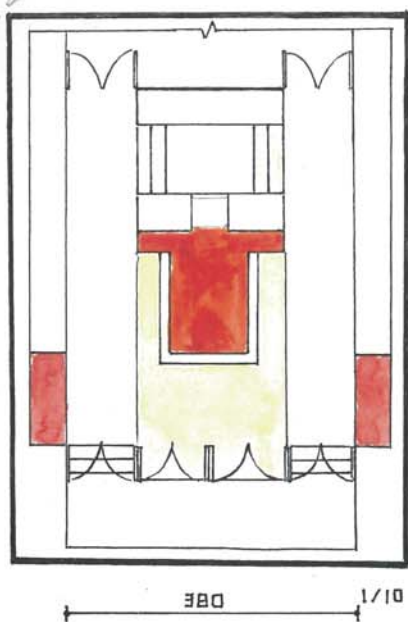




084

1 1/20

心の絆

この空間で繋げる
家族の心
きずな

コンセプト

これは家族の心を繋げることを望む空間です。このアイデアで皆の絆を深めてもっと信頼感を固くしたいんです。

主に夜だけ家族が顔を合わせられるの40代主婦の生活を考えた。お父さんはいつも仕事で家にいなくて、子供たちも学校で勉強なので、お母さんはいつも一人ぼっちになって家にいます。主婦として、人生の時間は大部分が家庭のために働いていると言ったら、過言ではありません。黙々とこの家の力として、家族の生活を支えています。

だから、幸せな家庭になることはお母さんの気持ちに気づくことが大切です。もし、この空間で仲良しの家庭環境になったら、「心の絆」をお母さんにプレゼントとすることが最高の恩返しだと思います。

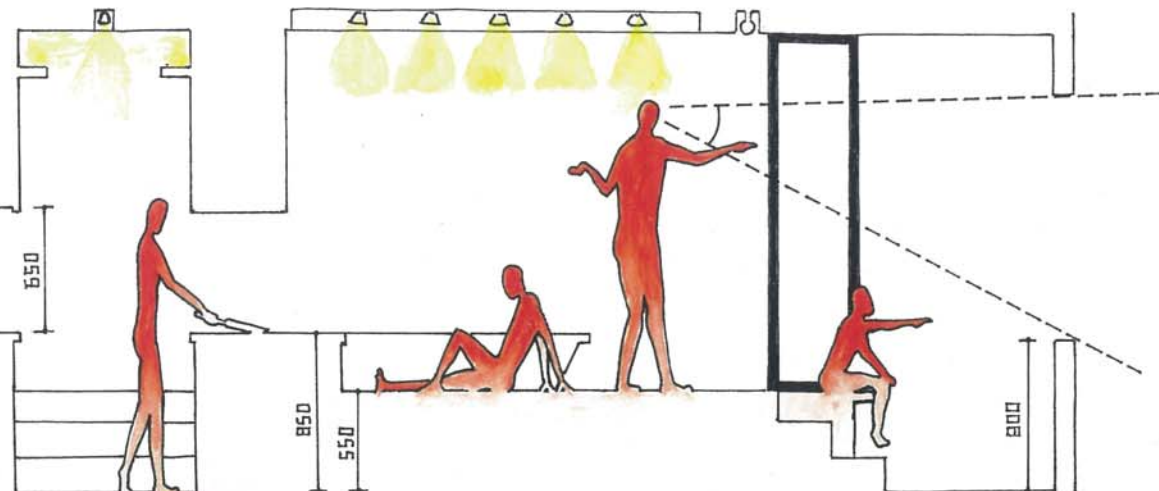
設計のポイント

1 家族の皆が一緒に体験できる雰囲気をつくるために、ベランダをキッチンと繋げて、風景をキッチンに入れるだけではなく、大自然の力を借りて、食事をしながら、自然の風を感じて、家族の皆が一日中に溜まったストレスを解消したい。

2 キッチンの床の高さを高くする理由は三つがあるんです。一つ目は集合住宅のベランダから外を眺める時、ベランダ手すりの高さが気になり、室内の床を高くし、視線が自然に広がる。二つ目は床に座ると広々と自由な姿勢で寛げるといいます。三つ目はキッチンの床に座る時にどこでもお母さんの顔が見えるんです。お母さんに話しかけやすくなります。逆に主婦も家族の皆の笑顔が見えて、気持ちがよくなります。

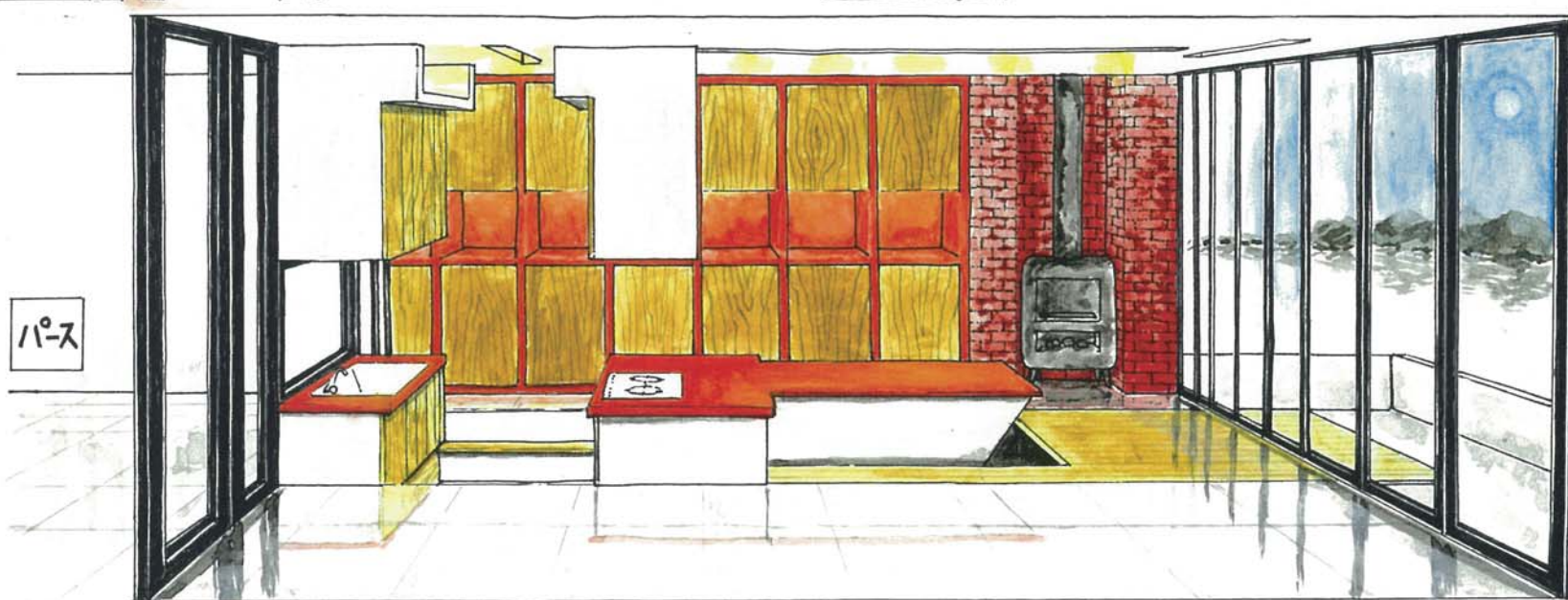
3 開放式のキッチンは主婦にとって家に汚れが付きやすいので、ガラス戸で、空間を分けることにします。できるだけ自然の光が保たれて、キッチンの油煙もほかに広がらないようにするため。

床を高くし、家の中に立つ場合でも外をよく見えます。



2 1/20

夜に食事する後も、ベランダで座って親子は本音で話し合えます。距離感を近くします。



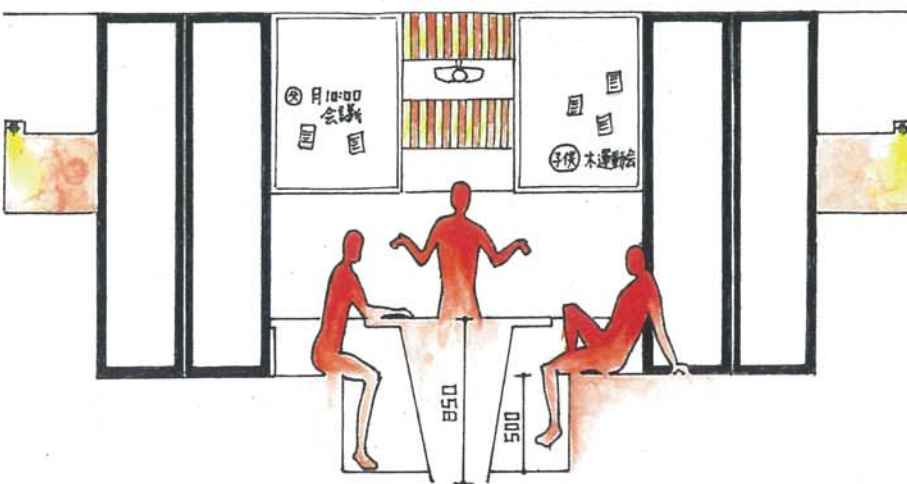
パース

1 2 3 4

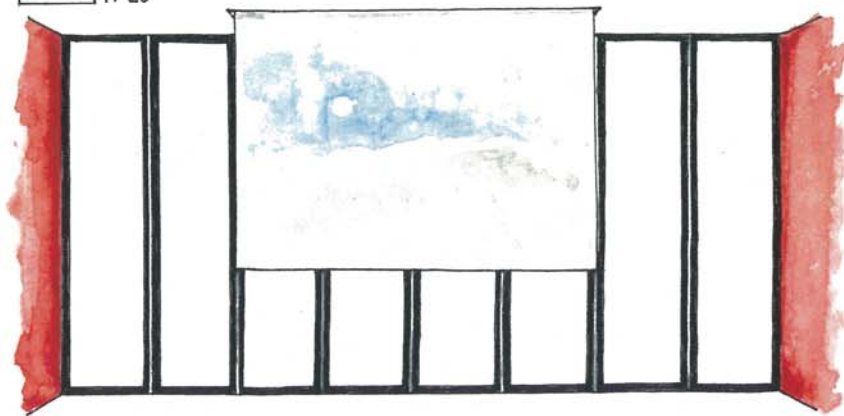
4 キッチンの上の棚にプロジェクターを配置して、家族が団楽の時間に一緒にテレビとか、映画とかを見て、楽しい話題をすることができます。プロジェクターの両側の棚は表面がガラス張り、字も書けるし、消し易いし、メモ用紙も貼れます。こうするとお母さんも家族のことをよく理解できます。ちなみに、キッチンの両側のショーケースに赤っぽい照明を配置して、家族のために暖かい雰囲気を作ります。

暖房の代わりに暖炉を配置して、寒い時に家族の皆が体を暖めるために、一緒にキッチンに集まる機会も増えると思います。床材は汚れを落としやすいように、タイルにし。座るところとベランダを連結する部分は座り心地を考え、フローリングにします。そうすると空間の一体感も現せてもっと広く見えます。

3 1/20



4 1/20



ロールスクリーンを配置して、3番目のプロジェクターをペアにして、団楽の時間に共有の話題が増えます。